

# 製品安全データシート

## 【製造者情報】

会社名：笠原理化工業株式会社  
住所：〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目133番8  
電話番号：0480-38-9151  
FAX番号：0480-38-9157  
整理番号：1507151  
作成・改訂日：2019年12月20日

【製品名】 ニッケル標準液 50g/l

※濃度は滴定により決定しますので、50g/l前後の表示になります

## GHS分類

### 物質又は混合物の分類

皮膚腐食性／刺激性	区分1A
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	区分1
皮膚感作性	区分1
発がん性	区分1A

### 絵表示



注意喚起語 危険

## 危険有害性情報

H314 - 重篤な皮膚やけど・眼の損傷を起こす  
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H318 - 重篤な眼の損傷をおこす  
H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ  
H350 - 発がんのおそれ

## 注意書き(安全対策)

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。
- ・個人用保護具を着用すること。

- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・ 取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。
- ・ 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出してはいけません。
- ・ 保護手袋

#### 注意書き-(応急措置)

- ・ 眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
- ・ 皮膚または髪に付着した場合、汚染されたすべての衣服をすぐに脱ぎ、水やシャワーで皮膚を洗うこと。
- ・ 再使用の前に汚染された衣服を洗う。
- ・ 皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師の治療を受けてください。
- ・ 吸入した場合、新鮮な空気のある場所へ移動させ、呼吸が楽な姿勢で休憩させる。
- ・ ただちに医師に連絡すること。
- ・ 飲み込んだ場合、口を漱いでください。ただし、吐かないでください。

#### 注意書き-(保管)

- ・ 非該当

#### 注意書き-(廃棄)

- ・ 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

#### その他

ほかの危険有害性情報なし

#### 【物質の特定】

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名	含有量	化学式	化審法官報 公示番号	安衛法官報 公示番号	CAS 番号
水	76~80%	H <sub>2</sub> O	N/A	N/A	7732-18-5
硫酸ニッケル 六水和物	20~24%	NiSO <sub>4</sub> · 6H <sub>2</sub> O	1-813	N/A	10101-97-0

不純物または安定化添加剤

非該当

#### 【応急措置】

吸入した場合：新鮮な空気のある場所へ移し、安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：多量の水で石鹸を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。

目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗い流す。異常があれば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：多量の水、又は食塩水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。

#### 【火災時の措置】

消 火 方 法：火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。

消 火 剤：本品は水溶液であり不燃性である。周辺火災に適した消化剤を用いる。

特有の消火方法：火災の熱により有毒なガスが発生する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周囲を水噴霧で冷却する。

消火を行う者の保護：消火活動は風上から行き、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

---

#### 【漏出時の措置】

人体に対する注意事項：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項：漏出した製品、または汚染された排水が適切に処理されずに河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

回収・中和：乾燥砂、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。その後、消石灰、ソーダ灰等の水溶液を用いて処理し、多量の水を用いて洗い流す。

---

#### 【取り扱い及び保管上の注意】

取 扱 い：換気の良い場所で行い、飛散しないように注意する。

眼、皮膚、衣類等に触れないように適切な保護具を着用する。

保 管：容器は密閉し、直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に保管する。

---

#### 【暴露防止措置】

設 備 対 策：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼及を行うための設備を設け、その位置は明瞭に表示する。

保 護 具：必要に応じ、不浸透性保護手袋、保護眼鏡、防塵マスク保護衣等を着用する。

---

#### 【物理的及び化学的性質】

外 観 等：色 緑色

濁度 澄明

性状 液体

臭い：データなし

pH：5～7

沸 点：データなし

融 点：データなし。

比重：データなし。  
溶解度：水と自由に混合。

---

#### 【安定性及び反応性】

安定性・反応性：通常取り扱いでは安定。  
避けるべき条件：日光、熱  
危険有害な分解生成物：ニッケル酸化物、硫黄酸化物

---

#### 【有害性情報】

水溶液としてのデータはない。硫酸ニッケル（Ⅱ）6水和物として記す。  
刺激性：データなし。  
急性毒性：経口ラット LD50：264mg/kg（RTECS）  
変異原性：データなし。  
生殖毒性：データなし。  
呼吸器感作性又は皮膚感作性：気道感作性物質 第2群  
（人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質）  
皮膚感作性 第1群  
（人間に対して明らかに感作性がある物質）（許容濃度等の勧告）  
発ガン性：ニッケル化合物として  
NTP：R（ヒトに対して発ガン性がある）  
IARC：グループ1（ヒトに対して発ガン性がある）  
ACGIH：A4（発ガン分類できない）（ニッケル水溶性化合物）  
日本産業衛生学会：「第1群」人間に対して発ガン性がある物質

---

#### 【環境影響情報】

残留性／分解性：微生物などによる分解性はない。0% by BOD  
生態蓄積性：魚類の体内において、濃縮性または蓄積性がない、あるいは低いと判断される物質である。  
魚毒性：データなし

---

#### 【廃棄上の注意】

- ・沈殿法：消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、埋立処分する。  
※pHを8.5以上とすること。（水酸化ニッケルが完全に沈殿しないため）
  - ・空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
- 

#### 【輸送上の注意】

国連番号： 非該当

国連分類： 非該当

海洋汚染物質：非該当

注意事項：輸送前に容器の破損、腐しよく、漏れ等がないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

---

#### 【適用法令】

消防法： 非該当

毒物及び劇物取締法： 非該当

労働安全衛生法： 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、  
施行令第18条の2別表第9)No.418

船舶安全法（危規則）： 非該当

航空法： 非該当

海洋汚染防止法： 非該当

化学物質管理促進法(PRTR法)：特定第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1、  
施行令第4条)No. 309

---

#### 【引用文献】

- 1) 化学物質の危険有害物便覧
  - 2) Dangerous Properties of Industrial Materials
  - 3) 化学品安全管理データブック
  - 4) 化学物質の危険・有害便覧（中央労働災害防止協会）
  - 5) 化学物質安全性データブック（オーム社）
  - 6) 化学便覧 応用編（丸善出版社）
  - 7) 化学辞典（東京化学同人）
  - 8) MSDS の作成指針（日本化学工業協会）
- 

#### 【コメント】

- ・この製品安全データシートの記載内容は、各種の文献や当社の調査に基づいて作成しておりますが、必ずしもすべての安全性を保証するものではありません。
- ・取り扱いには十分注意し、安全な使用をして頂きますようお願い致します。
- ・記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- ・また、特殊条件化で使用するとき、その場の使用環境に応じて安全対策を実施して下さい。